

令和6年度 秋田県立矢島高等学校
第3回学校運営協議会 議事録

【日時・場所】

令和7年2月18日（火）14：20～16：00

秋田県立矢島高等学校 大会議室

【出席者】

1 学校運営協議会委員

大井 永吉 【天寿酒造株式会社代表取締役社長】
庄司 嘉政 【矢島高等学校元PTA会長】
佐々木 正純 【矢島スポーツ協会会長】
茂木 雅人 【本海流坂之下番楽講中】
佐藤 俊弘 【矢島高等学校拓道同窓会会長】
三浦 秀人 【矢島まちづくり協議会会長】
滝野 由紀夫 【元由利本荘市役所矢島総合支所長】
大庭 良久 【矢島小学校校長】
東海林 俊介 【矢島中学校校長】
藤原 淳 【矢島高等学校校長】

2 矢島高等学校〔事務局〕

関屋 亜生以 【教頭】
内田 隆仁 【事務長】
佐藤 久男 【教諭（教務部主任・総務部副主任・WG3委員長）】
大坂 充孝 【教諭（生徒指導主事）】
黒木 育子 【教諭（進路指導主事）】
猪股 憲一 【教諭（特別活動部主任）】
黒木 仁美 【養護教諭（保健主事）】
土田 伸也 【教諭（商業科主任・YBP担当・WG2委員長）】
佐藤 朋子 【教諭（1年部主任）】
佐々木 みか子 【教諭（2年部主任）】
佐藤 俊治 【教諭（3年部主任・WG1副委員長）】

※ 学校運営協議会の前に各ワーキング・グループでの協議を実施

【議事概要】

1 校長あいさつ

本日は第3回の学校運営協議会にご参加いただきまして、本当にありがとうございます。また、先ほどまでのワーキング・グループでの協議ありがとうございます。学校評価、分掌等の説明については、この後、各担当の方から話があると思いますので、私からは、資料にないことについて、5点、時間をいただいで、皆様にお知らせしたいと思います。

1点目は、給食の提供についてです。生徒や保護者の皆様から、給食を提供してほしいということ、ここ数年、かなり強く要望されておりました。ただ、実現するためには、食器、食缶、運搬車、炊飯器、消毒保管機など新たに機材を購入しなければいけません。この後も検討していきますが、生徒や保護者の要望に応えるのは難しいということ、委員の皆様にもご承知していただきたいと思ひます。

2点目は、由利本荘市が計画している地域みらい留学についてです。これは、外部の法人が窓口になりまして、全国から高校生を募集する事業です。県外からの入学生が来れば、地元の小・中学生に対してもいい刺激になるのではないかと思います。このような事業をきっかけに、本校の活性化につながればと考えています。議会を経て決定ということになりますが、今は議会の決定待ちといったところです。

3点目は、100周年記念行事についてです。昨年末に同窓会長さんをはじめ、役員の方にお越しいただいて、令和8年10月31日に記念行事を行いたいとお伝えしました。具体的な中身については、まだ検討中ですが、校内の組織もある程度固まりつつありますので、今後はその組織のところで、今年度中に話をし、来年度早々、また同窓会の方と詰めていきたいと考えています。

4点目は、小中高の連携についてです。連携した行事を企画する場合には、先生方の負担感が大きく、なかなか企画できないでいましたが、3学期になってからは、本校のやしまブランディングプロジェクト（YBP）が作成したすごろくを小学生と一緒に高校生が遊ぶというイベントを行い、小学生の方からも喜んでもらいました。3月中には本校のYBPがアイデアを出したおかずみそを小・中学校の給食に提供して、小・中学校の方と一緒に給食を食べる時間も設けていただけるという話でしたので、生徒の励みになると思ひます。

5点目は、広報活動についてです。学校の様子を紹介する広報誌の日新の発行回数を先生方の負担軽減ということで、減らしました。そのかわりホームページの更新回数を増やしています。本校のホームページに「きらり矢島あなたへ」というところがありますので、興味がある方は、そちらの方を見ていただ

ければと思います。

2 学校運営協議会会長あいさつ

それぞれのワーキング・グループでいろいろと話があったと思いますが、具体的な取組をしっかりとやっていただいていると感じています。ただ、当初と比べて、職員や生徒の数が減り、校長先生からお話がありましたように入学希望者が一桁ということも現実としてあるわけです。学校だけではなく、秋田県自体が、非常に厳しいというようなこともここに来て急に、バタバタ表に出てきています。給食の提供についてですが、高校生の食器と中学生の食器が違うのか、小学生と中学生の数が減っているのか、食器が余っているのではないかと思います。行政の縦割りの中では何もできません。我々のような地元民が知恵を出せば、できることがあるのではないのでしょうか。実際にはやれること、やれないことがあります。その辺は柔軟性を発揮して、何かしらできないとこのような会議をやっている意味がないと思います。ぜひ忌憚なく意見を出してください。

3 出席者紹介

4 協議（進行：大井会長）

（1）協議 1 学校評価

① 学校評価アンケート結果について

関屋教頭が、資料に基づき、保護者及び職員を対象とした学校評価アンケートの結果や分析内容について、説明を行った。

（意見・質疑応答）

庄司委員：評価が低い項目については、なぜその評価をしたのかということを知ることができれば、問題点がわかるのではないかと思います。自由記述欄はあるが、評価の理由を書くところがない。

関屋教頭：評価が1や2の場合は、その理由を自由記述欄に書くことになっているが、空欄のままのこともある。自由記述欄に記載された評価の理由については、お渡しした資料にまとめている。

② 各分掌の取組について

各分掌主任が、資料に基づき、分掌の取組状況や自己評価等について、説明を行った。

(意見・質疑応答)

庄司委員 : 矢島高校の先生は、生徒に寄り添っていて頭が下がる思いである。昔から取組の濃度が変わらないにもかかわらず、生徒数の減少に伴い、先生の数が少なくなっている。一人の先生がいろいろな分野の仕事をしていることを心配している。以前、矢島高校には、旧職員や地域住民にサポートしてもらった制度があった。先生の負担を軽減するために、サポーター制度に取り組んでもらいたい。

藤原校長 : 学校の中期ビジョンで、サポーターバンクの活用を取り上げている。私も1年目のため、サポーターバンクにどのような方が登録されているのか把握していない。

土田教諭 : 佐々木誠校長の時に、サポーターバンクの制度をつくったと記憶している。旧職員や卒業生をサポーターバンクに登録したが、活用したことはないと思われる。番楽の指導者なども登録して、担当職員が異動しても、継続して活動ができるようにした。名簿自体は見たことがない。

(2) 協議2 次年度に向けて

① 各WGの今年度の成果と課題、次年度の取組等について

各ワーキング・グループの事務局担当者が、資料に基づき、今年度の成果と課題、次年度の取組等について、説明を行った。

(意見・質疑応答)

佐々木委員 : グループ2で、「おかずみそ」の話があったが、収益は学校と店舗のどちらに入るのか。

土田教諭 : 店舗の収益になる。

佐々木委員 : どこで売っているかわかるパンフレットはあるか。

土田教諭 : SNSや店頭で宣伝している。

佐々木委員 : 西目や鳥海の道の駅で売っていることを今日始めて知った。ポスターなどの紙媒体を使って、学校の玄関で宣伝してもいいのではないか。PTAの際に多数の保護者が来校

するので、効果が期待できる。

大井会長 : 基本的な生活習慣を確立するという話があったが、まずはそこからだと考えている。ワーキング・グループの活動は、非常にポジティブで、いい感じになっている。一方、生徒のクラスでのトラブルなどについては、あまり聞こえてこない。高校生の就職状況はいいと言われている中で、まだ就職が決まっていない生徒もいる。これはどういうことなのか。学校活動の全体を把握するとすれば、そういったことも聞かなければならない。ワーキング・グループの活動は生徒にポジティブないい影響を与えている。具体的な取組の話が出てくるまでは、結構な年数がかかった。生徒数や職員数が減っている中で、大変ではあるが、今後もよろしく願います。

② 次年度の学校の取組について

関屋教頭が、資料に基づき、次年度の学校運営協議会の年間計画について、説明を行った。

5 校長あいさつ

藤原校長が、各委員の協力に対し謝辞を述べるとともに、来年度の委員の就任について、依頼をした。

6 諸連絡

関屋教頭が、「学校評価用紙」及び「学校運営協議会に係るアンケート」について、説明を行った。